

令和3年度全国簿記競技大会

予選問題 仕 訳 (制限時間10分) 全2枚 ①

解答は解答用紙に

問題 次の取引を仕訳しなさい。なお、現金預金勘定、当座勘定および営業費勘定は使用しないこと。(100点)

- 現金過不足勘定残高について原因を調査したところ、雑収入として処理した¥450が正しくは¥540であったことと、交通費¥690が記入漏れであることが判明した。なお、残額¥50は原因不明であり雑損として処理することにした。
- 売掛金の回収として得意先振出しの小切手¥210,000を受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。なお、¥500,000を限度額とする当座借越契約を結んでおり、当座借越勘定残高が¥90,000ある。
- 本日、前週に銀行に預け入れた6,938ドル(当社の外貨預金勘定残高¥725,021)のうち4,938ドルを引き出して普通預金に振り替えた。本日の為替レートは1ドル¥107である。
- 仕入先に対する買掛金¥345,000を支払うため、取引銀行を通して電子債権記録機関に当社債権の譲渡記録を行った。
- 決算整理前の売買目的有価証券勘定残高は¥2,645,000であり、決算日の時価は¥2,694,000である。決算にあたり、売買目的有価証券の評価差額を有価証券運用損益勘定に計上した。
- 商品¥123,000(仕入先負担の引取運賃を含む)を掛けて仕入れたところ、仕入先の手違いにより運賃着払いで送られてきたため、運送業者に現金¥3,000を立て替えて支払って商品を引き取り、仕入先に通知し掛代金から差し引くこととした。
- 先月分のクレジット払い販売代金¥2,687,500につき、本日、販売代金の4%のクレジット手数料を差し引いた手取額がクレジット会社から当社の当座預金口座に振り込まれた。なお、当社は販売時に手数料を差し引いてクレジット売掛金勘定に計上している。
- 郵送されてきた本年度の固定資産税納付書を受け取った時に、年間納付額¥138,000の全額を未払税金勘定に計上していた。本日、年間納付額の4分の1にあたる第1期分の固定資産税を小切手を振り出して納付した。
- 本店から通知を受けた本店における当支店勘定残高と当支店の本店勘定残高の不一致の原因を調査したところ、本店が立て替えて支払った当支店の買掛金¥83,500を当支店が¥85,300と誤記入していたことが判明したので訂正する。
- 前期に販売した商品に対する品質保証期限が経過したため、該当する商品に対する品質保証のための引当金の残高¥18,000を取り崩す。
当社(発行済株式数200株)は、本日の株主総会において繰越利益剰余金について次のとおり配当・処分する承認を得た。
株主配当金：1株あたり¥7,250 別途積立金：株主配当金控除後の繰越利益剰余金勘定残高の25%を積み立てる。
なお、承認直前の資本金は¥12,500,000、資本準備金は¥2,180,000、利益準備金は¥945,000、繰越利益剰余金は¥4,114,000である。
- 得意先から受け取っていた約束手形¥876,000を手形の支払期日前(満期日までの日数25日間)に取引銀行に買い取ってもらい、手形の額面金額に対して年率2%を日割計算(1年を365日とする)した割引料を差し引いた金額が当座預金に振り込まれた。
- 本日、前週に仕入原価にその20%の利益を加えて1個あたり¥1,500で掛け売上した商品80個のうち20個が返品され、残りの60個について1個あたり¥50値引きすることにした。当社は商品売買を売上原価対立法(売上計上時に売上原価も計上する方法)によって処理している。

全2枚 ②

14. 当社(決算日12月31日, 年1回決算)は, 使用開始後本日(4月30日)までに3年3か月経過した備品を¥200,000で売却し, 代金は翌月末に受け取ることとし, 月割計算した当期の減価償却費¥(各自計算)と固定資産売却益¥1,550を計上した。なお, この備品は耐用年数5年, 残存価額ゼロ, 定額法で減価償却(月割計算)し, 直接法で記帳してきている。
15. 単一製品を製造販売している当工場の当月完成品は3,000個であった。製品勘定の前月繰越高は¥527,850(300個)であり, 当月完成品原価を製品勘定に振り替え後の借方合計額は¥5,822,850となった。当月販売数量は2,940個であり, 先入先出法により売上原価を計上する。
16. 主要材料Aによって受注品を製造しており, A材料費は予定消費価格(1kgあたり¥696)を用いて計算している。材料Aの月初棚卸高は¥139,000, 当月購入代価は¥1,314,000, 材料副費が¥65,000, 月末帳簿棚卸高は¥103,500であり, 当月消費数量は2,050kg(うち50kgは工場建物の修繕材料として消費した)である。当月のA材料費と消費価格差異を月末にまとめて計上した。材料勘定を用いること。
17. 直接原価計算を行っている当工場では製造間接費を製品1個あたり¥300の予定配賦率を用いて配賦している。当月の月初と月末仕掛品の完成品換算数量はそれぞれ100個と150個であり, 当月完成品数量は750個であった。当月の製造間接費を仕掛品勘定と原価差異勘定に振り替えなさい。なお, 当月の製造間接費実際発生額は¥718,000であり, うち変動費は¥253,000, 固定費が¥465,000であった。
18. 標準原価カードの製品1個あたりの標準製造間接費は¥2,000(=1,000円/時間×2直接作業時間)である。当月の標準完成品換算数量は1,000個, 実際直接作業時間は2,010時間, 仕掛品勘定の借方に計上された製造間接費実際発生額は¥2,010,000であった。なお, 標準配賦率1,000円/時間は, 変動費率400円/時間, 年間固定費予算額¥14,400,000, 年間基準操業度24,000時間とする公式法変動予算による。予算差異¥(各自計算), 能率差異¥(各自計算), 操業度差異¥6,000を仕掛品勘定から各勘定へ振り替えなさい。
19. 当社(決算日3月31日, 年1回決算)は, 当期の7月1日に額面総額¥100,000,000の社債を, 期間5年, 券面利率年率0.15%, 利払日は8月末日の年1回, 発行価額は額面金額の99%で発行した。本日, 決算につき必要な決算整理(月割計算)を行う。なお, 発行差額について償却原価法(定額法)により処理する。
20. 前期に利子込み法によりリース資産勘定に計上したリース契約は, リース期間3年, 毎月末に均等額のリース料を支払う所有権移転外ファイナンス・リース取引である。リース開始日から当期末決算日(3月31日, 年1回決算)までの経過期間は1年5か月であり, 当期3月分のリース料支払い後のリース債務勘定残高は¥617,500である。本日, 決算につきリース資産の減価償却を行い直接法で記帳した。
21. 先週末に親会社から借り入れていた借入有価証券(B社株式150株, 1株あたりの時価¥62,000)を, 本日, 取引銀行に担保として差し入れ, 1年間分の利息¥90,000が差し引かれた¥5,910,000を当座預金に預け入れた。なお, 支払った利息は前払利息勘定に計上する。
22. 関連会社株式勘定残高¥7,710,000の内訳は次のとおりである。決算につき, 評価替えを行い関連会社株式評価損を計上する。

	発行済株式総数	うち当社の持分比率	当社の取得原価	決算日の時価	各社の純資産	回復の見込
C社株式	300株	25%	50,000円/株	46,000円/株	¥13,800,000	あり
D社株式	200株	33%	60,000円/株	不明	¥5,600,000	不明

23. 工事収益総額(請負価格)¥85,000,000, 見積工事原価総額¥68,000,000, 工事原価実際発生額は前期末までに¥23,460,000, 当期末までは¥52,020,000であり, 工事進行基準(原価比例法)により当期の工事収益と工事原価を計上する。なお, 工事未収入金, 半成工事, 工事収益, 工事原価の諸勘定を設けている。
24. E社へ備品を納入し2年間同備品に対する保守サービスを提供する契約を¥3,570,000で締結し, 当期首にF商品(同備品)を引き渡し, 全額¥3,570,000を売上勘定に計上した。決算(決算日3月31日, 年1回)につき, 売上勘定を減額し当期収益を適正に算定する処理を行う。F商品と保守サービスの独立販売価格はそれぞれ¥2,800,000と¥770,000である。
25. 前期末の決算整理前の帳簿価額は¥6,565,000であったが, 前期末に法人税等の税率40%を考慮して税効果会計を適用し, 全部純資産直入法により決算日の時価¥5,656,000に評価替えしたその他有価証券勘定残高を, 当期首に洗い替え処理した。

令和3年度全国簿記競技大会

予選問題 計 算 (制限時間10分) 全3枚 ①

解答は解答用紙に

第1問 全経商店の平成31年度と令和2年度の次の表中の(空欄)の金額を計算し、(ア)~(カ)の金額を答えなさい。(24点)

(単位:千円)

会計期間	期首		当期				期末	
	資産総額 (うち商品)	負債総額 純資産総額	追加元入高 資本引出高	純売上高 その他収益	純仕入高 売上原価	その他費用 純損益	資産総額 (うち商品)	負債総額 純資産総額
平成31年度 (令和元年)	75,300 (ア)	34,050 ()	0 8,420	153,000 2,810	112,320 114,700	27,480 (イ)	81,730 (9,260)	(ウ) ()
令和2年度	81,730 (9,260)	() ()	0 (エ)	157,200 (オ)	(カ) 116,328	28,592 19,640	92,470 (10,532)	35,670 ()

第2問 株式会社である当社の次の期首・期末の貸借対照表と元帳の記録により(1)売上総利益、(2)当期純利益、(3)期末繰越利益剰余金、(4)期末売掛金の金額を求めなさい。なお、()の中に入る語句と金額は各自で考えること。(16点)

期首貸借対照表

現金預金	1,900,000	買掛金	1,725,000
売掛金	1,856,000	借入金	800,000
商品(繰越商品)	()	資本金	()
建物	2,390,000	利益準備金	()
土地	2,000,000	繰越利益剰余金	()
	8,800,000		8,800,000

期末貸借対照表

現金預金	2,157,000	買掛金	1,853,000
売掛金	()	借入金	600,000
商品(繰越商品)	746,000	資本金	()
建物	2,120,000	利益準備金	1,000,000
土地	2,000,000	繰越利益剰余金	()
	()		()

仕入

期中総額	11,000,000	仕入戻し	405,000
繰越商品	()	繰越商品	()
	()		()

売上

売上値引	460,000	期中総額	14,100,000
()	()		()
	()		()

損益

仕入	()	()	()
その他費用	2,580,000	その他収益	125,000
()	()		()

資本金

次期繰越	()	前期繰越	4,000,000
------	-----	------	-----------

繰越利益剰余金

配当・処分	420,000	前期繰越	()
次期繰越	()	()	()
	()		()

利益準備金

次期繰越	()	前期繰越	()
	()	積立額	20,000
	()		()

第3問 当社(年1回決算)の固定資産台帳(一部)から要約した次の資料の(ア)~(ウ)の金額を求めなさい。(12点)

種類	使用開始から前期末までの使用経過期間	取得原価	償却方法	耐用年数	償却率	残存価額	期首帳簿価額	当期減価償却費
建物A	13年6か月	()	定額法	25年	0.040	(注1)	¥3,461,276	()
建物B	8年3か月	¥12,560,000	定額法	()	0.025	0	()	()
備品C	3年8か月	¥1,800,000	200%定率法	10年	()	0	(イ)	()
車両D	1年5か月	()	生産高比例法	6年	(注2)	0	()	¥413,350
合計	-	(ア)	-	-	-	-	¥16,419,070	(ウ)

(注1)取得原価の10%

(注2)見積走行可能距離:100,000km, 当期走行距離:17,500km

全3枚 ②

第4問 当社(年1回決算, 決算日: 令和3年3月31日)の次の借入金明細表の(ア)~(ウ)の金額を求めなさい。日割計算は, 1年を365日として行うこと。(12点)

借入先	借入金額	借入期間	年又は日数	年利率(%)	当期返済額	当期末残高	当期の支払利息
A信用金庫B支店	(ア)	令和2年6月20日~ 令和2年8月31日	73日間	2.45	()	0	¥ 1,470
同上	¥ 265,000	令和3年3月7日~ 令和3年4月6日	()日間	2.92	0	¥ 265,000	()
C銀行D支店	()	平成30年10月1日~ 令和4年9月30日	(注)	1.80	()	()	()
同上	¥ 1,500,000	令和元年6月1日~ 令和3年5月31日	()年間	1.45	0	¥ 1,500,000	()
A信用金庫本店	¥ 1,000,000	令和元年12月1日~ 令和4年11月30日	3年間	1.60	0	()	¥ 16,000
合計	¥ 5,065,000	—	—	—	()	(イ)	(ウ)

(注)借入期間は4年間であるが, 半年経過ごとに元金の均等額と利子を支払って分割返済している。

第5問 ㈱全経商会の当期(令和2年4月1日~令和3年3月31日)の期末商品棚卸高は次のとおりであった。資料にもとづいて, 損益計算書の(ア)~(ウ)の金額を求めなさい。なお, 売上総利益率(=売上総利益÷売上高)は25%であり, 棚卸減耗費および商品評価損は全額を売上原価の内訳項目とする。(12点)

種類	期末数量		取得原価	正味売却価額
	帳簿棚卸数量	実地棚卸数量		
A商品	23個	23個	15,400円/個	15,300円/個
B商品	54個	54個	8,950円/個	8,980円/個
C商品	95個	90個	3,680円/個	3,680円/個
D商品	142個	140個	2,450円/個	2,370円/個
E商品	250個	245個	1,060円/個	1,040円/個

損益計算書			
㈱全経商会 令和2年4月1日~令和3年3月31日 (単位:円)			
売上高	(ア)	:	:
売上原価		:	:
期首商品棚卸高	2,537,000	雑費	8,400
当期商品仕入高	(イ)	営業利益	6,192,000
合計	()	営業外収益	()
期末商品棚卸高	()	:	:
差引	()	:	12,500
棚卸減耗費	()	営業外費用	213,000
商品評価損	(ウ) ()	:	:
売上総利益	()	:	23,800
販売費及び一般管理費		税引前当期純利益	()
給料	3,636,000	法人税等	646,000
:	:	当期純利益	970,000

全3枚 ③

第6問 ㈱全経製作所の当月の材料費は次のとおりであった。材料の購入はすべて掛け仕入であり、主要原材料の消費額は予定消費価格を用いて計算している。なお、主要原材料は継続記録法(ただし、月別総平均法による)によるが、補助材料は棚卸計算法によっている。次の資料にもとづいて、当月の材料勘定の(ア)～(ウ)の金額を求めなさい。資料中の()の数値と金額は各自計算すること。(12点)

	予定消費価格	月初棚卸高		当月掛仕入高		月末棚卸高(注1)		当月消費額		
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
主要 原材料	原材料 A	1,000円/kg	30kg	¥ 30,100	230kg	¥ 232,500	60kg	()	()	()
	原材料 B	800円/kg	25kg	¥ 21,360	215kg	()	80kg	¥ 63,120	(注2)	()
	買入部品 C	540円/個	19個	¥ 10,450	135個	()	()	()	120個	()
補助材料	—	—	()	—	¥ 24,540	—	¥ 8,430	—	()	

(注1) 主要原材料は帳簿棚卸高であり、棚卸減耗はなかった。補助材料は実地棚卸高である。

(注2) うち10kgは工場建物の修繕のために消費した。

材		料	
前月繰越	70,000	仕掛品	(ア)
買掛金	495,440	製造間接費	()
消費価格差異	(イ)	次月繰越	(ウ)
	()		()

第7問 P株式会社は、S株式会社の発行済議決権株式総数195株のうち156株を10,270千円で取得し、同社を子会社とした。支配獲得時に作成した次の連結精算表を完成し、連結貸借対照表にもとづいて(1)流動比率、(2)自己資本比率、(3)固定比率(ただし、100%超であれば固定資産の取得が他人資本にも依存していることを示す比率)を求めなさい。なお、解答にあたって比率は、パーセントの小数第1位未満を四捨五入すること。(12点)

連結精算表

(単位：千円)

科目	個別貸借対照表		修正・消去記入		連結貸借対照表
	P社(親会社)	S社(子会社)	借方	貸方	
現金預金	21,540	3,260			()
売掛金	8,230	1,950		()	()
その他流動資産	20,900	4,523		()	()
土地	19,200	3,685	()		()
S社株式	()	—		()	()
()	—	—	()		()
その他固定資産	19,860	4,582		()	23,180
資産合計	()	()	()	()	()
買掛金	12,564	()	1,280		()
その他流動負債	11,980	2,683	()		()
固定負債	23,480	2,861	()		25,079
資本金	35,700	8,500	()		()
資本剰余金	9,487	1,250	()		()
利益剰余金	()	530	()		()
評価差額	—	—	1,445	()	()
()	—	—		()	()
負債純資産合計	()	()	14,390	()	()

第1問～第4問は ①, 第5問～第6問は ② に

令和3年度全国簿記競技大会

予選問題 帳 票 (制限時間10分) 全2枚 ①

解答は解答用紙に

第1問 次のA商品の売買取引を略式伝票(3伝票制)に起票し、現金勘定と商品勘定に転記しなさい。商品売買は、売上原価対立法(販売のつど、その原価も計上する方法)で処理している。払出単価の計算は先入先出法によっている。なお、元帳の摘要欄には相手科目を、仕丁欄には伝票No.を転記すること。(24点)

7月1日 商品勘定の前月繰越高：A商品100個×@¥3,500=¥350,000

2日 A商品50個を@¥3,600で仕入れ、代金のうち¥80,000は現金で支払い、残額は掛けとした(いったん全額を掛取引として処理する方法によること)。

3日 A商品125個を売上原価にその20%の利益を加えた価格で販売し、全額を得意先振出しの小切手で受け取った。

6日 3日に販売したA商品のうち5個が返品され、小切手を振り出して支払った。

第2問 令和3年7月2日の取引について記入された略式伝票によって、同日の仕訳日計表を作成し、示された勘定口座に転記しなさい。ただし、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべていったん掛取引として処理する方法によっている。(24点)

入金伝票 No.703	
科目	金額
売掛金	257,000

仕入伝票 No.701	
商店名	金額
兵庫商店	126,000

売上传票 No.702	
商店名	金額
宮城商店	()

入金伝票 No.704	
科目	金額
売掛金	163,000

仕入伝票 No.702	
商店名	金額
香川商店	74,000

売上传票 No.703	
商店名	金額
栃木商店	88,800

入金伝票 No.705	
科目	金額
当座預金	50,000

仕入伝票 No.703	
商店名	金額
愛媛商店	52,000

売上传票 No.704	
商店名	金額
山梨商店	69,300

入金伝票 No.706	
科目	金額
売掛金	()

振替伝票 No.704			
借方科目	金額	貸方科目	金額
買掛金	186,000	当座預金	186,000

出金伝票 No.705	
科目	金額
営業費	12,300

振替伝票 No.705			
借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	215,000	受取手形	215,000

出金伝票 No.706	
科目	金額
買掛金	32,400

振替伝票 No.706			
借方科目	金額	貸方科目	金額
営業費	89,700	当座預金	89,700

出金伝票 No.707	
科目	金額
営業費	6,900

振替伝票 No.707			
借方科目	金額	貸方科目	金額
受取手形	()	売掛金	()

出金伝票 No.708	
科目	金額
当座預金	468,000

振替伝票 No.708			
借方科目	金額	貸方科目	金額
買掛金	85,000	受取手形	85,000

全2枚 ②

第3問 次の取引のうちB商品について、先入先出法によって商品有高帳に記入し、月末の日付で締め切りなさい。なお、摘要欄には商店名を記入し、返品については払出合計額が売上原価になる方法で記入すること。(24点)

- 6月5日 岡山商店からB商品を@¥1,120で100個仕入れ、代金は掛けとした。
- 8日 大分商店にB商品を@¥1,500で150個売り渡し、代金は掛けとした。
- 9日 鹿児島商店からC商品を@¥1,250で200個仕入れ、代金は掛けとした。
- 10日 三重商店からB商品を@¥1,110で150個仕入れ、代金は掛けとした。
- 12日 石川商店にB商品を@¥1,500で100個売り渡し、代金は掛けとした。
- 14日 和歌山商店にC商品を@¥1,600で200個売り渡し、代金は掛けとした。
- 16日 12日に石川商店に売り上げたB商品のうち10個が品質不良のため返品された。
- 22日 山口商店からB商品を@¥1,130で100個仕入れ、代金は掛けとした。
- 25日 10日に三重商店から仕入れたB商品のうち10個を品質不良のため返品した。
- 27日 大阪商店にB商品を@¥1,500で120個売り渡し、代金は掛けとした。

第4問 月次決算のため入手した5月末日の当座預金の残高証明書の銀行残高と当社の帳簿残高との不一致の原因を調査したところ、次の(1)~(6)が原因と判明した。銀行勘定調整表を作成し、当座預金出納帳を締め切りなさい。なお、(1)~(6)が

下記

 に該当する場合には、銀行勘定調整表の [] に選択した下記用語を記入すること。(28点)

時間外預入	未取立小切手	未取付小切手	未渡小切手
-------	--------	--------	-------

《不一致の原因》

- (1) 未払金支払いのために振り出した小切手¥45,200が、当社の金庫に保管されたままであった。
- (2) 夜間金庫に現金¥103,980を預け入れたが、銀行の営業時間外のため、銀行では翌日付で処理された。
- (3) 仕入先に対して買掛金支払いのため振り出した小切手¥76,300が、いまだ銀行に呈示されていない。
- (4) 得意先から受け入れた小切手¥134,500の取立てを銀行に依頼したが、銀行はまだ取り立てていない。
- (5) 売掛金の回収時に当座預金として処理した得意先振出しの小切手¥32,620が、まだ当社の金庫に保管されていた。
- (6) 得意先から当座預金口座に振り込まれた売掛金の回収額¥54,600を、当社では誤って¥45,600として処理していた。

令和3年度全国簿記競技大会

予選問題 決算 (制限時間10分) 全1枚

解答は解答用紙に

第1問 次の決算整理事項によって、精算表を作成しなさい。なお、決算日は3月31日で、会計期間は1年間である。(28点)

決算整理事項

1. 期末商品棚卸高は次のとおりである。なお、商品評価損は全額を売上原価に加え、棚卸減耗費は全額を営業外費用とする。

	帳簿棚卸高	棚卸減耗費	商品評価損	実地棚卸高
本店	21,700千円	90千円	150千円	()千円
支店	()千円	60千円	()千円	14,340千円

※()の金額は各自推定すること。

2. 売掛金の期末残高について2%の貸倒れを見積もる。差額補充法により処理する。
3. 建物と備品について定額法により減価償却を行う(間接法)。耐用年数は、本店支店ともに建物と備品がそれぞれ20年と8年である。

	本店建物	支店建物	本店備品	支店備品
残存価額	取得原価の10%	零(0)	零(0)	零(0)
当期首までの使用期間	13年	8年	4年	2年

4. 外貨預金50,000ドル(帳簿価額5,500千円)を換算替える。決算日の為替レートは、1ドル108円である。
5. 本店の保険料2,000千円は1年間分を毎期7月1日に同額支払う契約であり、期首に前期末に繰延計上した金額を再振替えている。
6. 外貨預金の利息50千円(462.96ドル×@108円)を見越計上する。
7. 本日、課税期間の末日につき消費税(税抜方式によって処理)を整理する。
8. 税引前当期純利益の40%の法人税等を計上する。なお、中間申告時に10,000千円の法人税等を納付している。

第2問 次の付記事項と決算整理事項によって、精算表を作成しなさい。なお、決算日は3月31日であり、会計期間は1年である。(32点)

付記事項

1. 期末日の営業時間終了後に現金を実査したところ、実際有高は¥235,700であった。帳簿残高との不一致の原因を調査したところ、当座預金の増加として処理してあった得意先振出しの小切手¥85,000がまだ金庫に保管されていた。なお、残額は原因不明であった。
2. 決算日の当座預金の銀行残高証明書の高¥2,255,000と当社残高との不一致は、期末日の銀行営業時間終了後の預入額¥345,000が銀行では翌日入金になっていることのほか、買掛金の支払いのために振り出した小切手がまだ金庫に保管されていることと判明した。
3. 建物のうち¥8,158,000は当期の10月1日から使用を開始した特殊倉庫(整理事項4.の「新建物」)であるが、法令によって求められる除去費用をまだ計上していない。使用終了後除去に要する支出は¥600,000と見積もられ、その割引現在価値は¥522,000である。
4. 課税期間の末日につき消費税(税抜方式によって処理している)の整理を行う。

決算整理事項

1. 売掛金の期末残高について1.5%の貸倒れを見積もる(差額補充法)。
2. 期末に保有している有価証券の内訳は、次のとおりであり、すべて前期中に取得したものであり、時価変動は正常なものと認められる。B社株式の評価差額の会計処理は全部純資産直入法を採用する。C社社債(年利率0.15%、利払は年1回6月末日)は、額面金額の96%の価額で購入したものであり、償却原価法(定額法)によって評価してきており、当決算日から償還期日までの期間は2年3か月である。

銘柄	取得原価および株式(口)数	前期末時価	当期末時価および株式(口)数	保有目的
A社株式	@¥64,200×30株	@¥65,000	@¥64,800×30株	売買目的
B社株式	@¥57,000×50株	@¥54,500	@¥56,700×50株	その他(取引関係維持)
C社社債	@¥9,600×80口	@¥9,680	@¥9,790×80口	満期保有目的

3. 期末商品棚卸高は、次のとおりである。なお、商品評価損は全額を売上原価に算入し、棚卸減耗費は全額を営業外費用とする。

種類	期末数量		取得原価	正味売却価額
	帳簿棚卸数量	実地棚卸数量		
D商品	1,200個	1,180個	1,050円/個	1,020円/個
E商品	785個	770個	()円/個	540円/個

※()の金額は各自推定すること。

4. 減価償却を次のとおり行う。なお、期中に取得した固定資産の減価償却費は月割計算により計上している。
建物 定額法 [旧建物] 耐用年数:20年 残存価額:取得原価の10% [新建物] 耐用年数:14年 残存価額:ゼロ
車両運搬具 生産高比例法 残存価額:ゼロ 前期末までの実際走行距離:23,500km 当期末までの実際走行距離:35,000km
リース資産 定額法 リース取引開始日:前期の11月1日
リース期間は3年であり、1年経過毎に均等額¥240,000のリース料を後払いしている。
なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引であるから残存価額はゼロ、利子抜き法により計上した。
5. 当期の課税所得を計算したところ¥2,590,000となったので法人税等を計上する。なお、中間申告しており、税率は30%とする。

第3問 精算表を完成しなさい。(40点)

令和3年度全国簿記競技大会

仕訳・得点計

予選問題

仕 訳 解 答

全2枚

①

@4点×25=100点

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	交 通 費 損 雑	690 50	雑 収 入 現 金 過 不 足	90 650
2	当 座 借 越 当 座 預 金	90,000 120,000	売 掛 金	210,000
3	普 通 預 金	528,366	外 貨 預 金 為 替 差 (損) 益	516,021 12,345
4	買 掛 金	345,000	電 子 記 録 債 権	345,000
5	売 買 目 的 有 価 証 券	49,000	有 価 証 券 運 用 損 益	49,000
6	仕 入 (又 は 商 品)	123,000	買 掛 金 現 金	120,000 3,000
7	当 座 預 金	2,580,000	ク レ ジ ッ ト 売 掛 金	2,580,000
8	未 払 税 金	34,500	当 座 預 金	34,500
9	本 店	1,800	買 掛 金	1,800
10	商 品 保 証 引 当 金	18,000	商 品 保 証 引 当 金 戻 入	18,000
11	繰 越 利 益 剰 余 金	2,116,000	(未 払) 配 当 金 別 途 積 立 金	1,450,000 666,000
12	当 座 預 金 手 形 売 却 損	874,800 1,200	受 取 手 形	876,000
13	売 上 品	33,000 25,000	売 掛 金 売 上 原 価	33,000 25,000

※1. 現金過不足 90 雑 収 入 90
 交 通 費 損 690 現 金 過 不 足 690
 雑 損 50 現 金 過 不 足 50 可也。

※以下、同様な処理がなされた場合も正解とする。

② に つ づ く

参加番号

このページの得点

全2枚 ②

	借方科目	金額	貸方科目	金額
14	未収(入金) 減価償却費	200,000 37,800	備品 固定資産売却益	236,250 1,550
15	売上原価	5,187,450	製品	5,187,450
16	仕掛品(又は製造) 製造間接費	1,392,000 34,800	材料 (材料消費)価格差異	1,414,500 12,300
17	仕掛品 原価差異	240,000 13,000	(変動)製造間接費	253,000
18	予算差異 率差異	6,000 10,000	仕掛品 操業度差異	10,000 6,000
19	社債利息 社債利息	150,000 112,500	社債 未払(社債)利息	150,000 112,500
20	減価償却費	390,000	リース資産	390,000
21	当座預金 前払利息 差入有価証券	5,910,000 90,000 9,300,000	借入金 保管有価証券	6,000,000 9,300,000
22	関連会社株式評価損	2,112,000	関連会社株式	2,112,000
23	工事未収入金 工事原価	35,700,000 28,560,000	工事収益 半成工事	35,700,000 28,560,000
24	売上	385,000	前受「金」 (又は契約負債)	385,000
25	その他有価証券	909,000	繰延税金資産 その他有価証券評価差額金	363,600 545,400

※19. (借方)社債利息 262,500 も可。

※24. 「 」内は、収益、役務収益、(保守)サービス料等、明らかに誤りである語句でなければ正解とする。

--

令和3年度全国簿記競技大会

計算・得点計

予選問題 計算 解答 全1枚

@4点×25=100点

第1問 (24点)

(単位：千円)

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)
11,640	13,630	35,270	9,300	7,360	117,600

第2問 (16点)

(1) 売上総利益	(2) 当期純利益	(3) 期末繰越利益剰余金	(4) 期末売掛金
¥ 3,137,000	¥ 682,000	¥ 1,557,000	¥ 1,987,000

第3問 (12点)

(ア) 取得原価の合計額	(イ) 備品Cの期首帳簿価額	(ウ) 当期減価償却費
¥ 23,456,000	¥ 798,720	¥ 1,129,518

第4問 (12点)

(ア) A信用金庫B支店からの借入金額	(イ) 当期末の借入金総額	(ウ) 当期の支払利息総額
¥ 300,000	¥ 3,515,000	¥ 60,000

第5問 (12点)

(ア) 売上高	(イ) 当期商品仕入高	(ウ) 商品評価損
¥ 32,320,000	¥ 23,456,000	¥ 18,400

第6問 (12点)

(ア) 当月直接材料費	(イ) 材料消費価格差異	(ウ) 次月繰越
¥ 384,800	¥ 1,560	¥ 150,000

第7問 (12点)

(1) 流動比率	(2) 自己資本比率	(3) 固定比率
210.7 %	50.6 %	89.1 %

令和3年度全国簿記競技大会

帳票・得点計

予選問題 帳 票 解 答 全3枚 ①

第1問 (24点)

●印@4点×6=24点

出 金 伝 票		No. 202
令和3年7月2日		
科 目	金 額	
買 掛 金	80,000	

入 金 伝 票		No. 101
令和3年7月3日		
科 目	金 額	
売 上	528,000	

振 替 伝 票				No. 301
令和3年7月2日				
借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額	
● 商 品	180,000	買 掛 金	180,000	

振 替 伝 票				No. 302
令和3年7月3日				
借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額	
売 上 原 価	440,000	商 品	440,000	

振 替 伝 票				No. 303
令和3年7月6日				
借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額	
● 売 上	21,120	当 座 預 金	21,120	

振 替 伝 票				No. 304
令和3年7月6日				
借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額	
商 品	18,000	売 上 原 価	18,000	

総勘定元帳(一部)

現 金 1

令3和年	摘 要	仕丁	借 方	令3和年	摘 要	仕丁	貸 方
7 1	前月繰越	✓	234,000	7 1	消耗品費	201	5,678
● 3	売 上	101	528,000	● 2	買 掛 金	202	80,000

商 品 5

令3和年	摘 要	仕丁	借 方	令3和年	摘 要	仕丁	貸 方
7 1	前月繰越	✓	350,000	7 3	売 上 原 価	302	440,000 ●
	2 買 掛 金	301	180,000				
● 6	売 上 原 価	304	18,000				

このページの得点

② ③ につづく

参加番号

●印@4点×6=24点

第2問 (24点)

仕 訳 日 計 表

令和3年7月2日 78

借方	元丁	勘定科目	元丁	貸方
● 518,000		現金		519,600
● 683,000		当座預金		325,700
● 120,000		受取手形		300,000
326,100	5	売掛金	5	588,000
303,400		買掛金		252,000
		売上		326,100
252,000		仕入		
108,900		営業費		
● 2,311,400				2,311,400

総勘定元帳

売掛金 5

月日	摘要	仕丁	金額	月日	摘要	仕丁	金額
7 1	前月繰越	✓	897,000	7 1	仕訳日計表	77	126,000
"	仕訳日計表	77	100,000	2	"	78	588,000
● 2	"	78	326,100				

※「"」は「仕訳日計表」でも可。

得意先(売掛金)元帳

宮城商店 1

月日	摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
7 1	前月繰越	✓	252,000		借	252,000
"	振替伝票	701		6,000	"	246,000
2	入金伝票	706		48,000	"	198,000
● "	売上伝票	702	168,000		"	366,000
"	振替伝票	707		120,000	"	246,000

第3問 (24点)

●印@4点×6=24点

商 品 有 高 帳

B 商 品

令 3 和 年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額	数 量	単 価	金 額
6 1	前 月 繰 越	80	1,100	88,000				80	1,100	88,000
5	(岡 山) 商 店	100	1,120	112,000				80	1,100	88,000
								100	1,120	112,000
● 8	(大 分) 商 店				80	1,100	88,000			
					70	1,120	78,400	30	1,120	33,600
10	(三 重) 商 店	150	1,110	166,500				30	1,120	33,600
								150	1,110	166,500
● 12	(石 川) 商 店				30	1,120	33,600			
					70	1,110	77,700	80	1,110	88,800
16	石川商店・(売上戻り)				10	1,110	11,100	● 90	1,110	99,900
22	(山 口) 商 店	100	1,130	113,000				90	1,110	99,900
								100	1,130	113,000
25	三重商店・(仕入戻し)	10	1,110	11,100				● 80	1,110	88,800
								100	1,130	113,000
27	(大 阪) 商 店				80	1,110	88,800			
					40	1,130	45,200	60	1,130	67,800
30	払 出 合 計				● 360		400,600			
● "	次 月 繰 越				60	1,130	67,800			
		420		468,400	420		468,400			
7 1	前 月 繰 越	60	1,130	67,800				60	1,130	67,800

※ 150 { 80 1,100
70 1,120 } 166,400

の記入も正解(以下同じ)。

このページの得点

全3枚 ③

●印@4点×7=28点

第4問 (28点)

銀行勘定調整表

(単位:円)

	当座預金の帳簿残高	● (1,695,600)	
	(加算)		
順不問	[未渡小切手]	(45,200)	
	● [未取付小切手]	(76,300)	
	[売掛金誤記入]	(9,000)	(130,500)
	(減算)		
順不問	[時間外預入]	(103,980)	
	● [未取立小切手]	(134,500)	
	[現金預入誤記入]	(32,620)	(271,100)
	銀行の残高証明書残高	● (1,555,000)	

当座預金出納帳

21

	令和3年	摘要	預入	引出	借または貸	残高
	5/30	前ページ繰越	4,409,710	2,772,890	借	1,636,820
	"	未払金支払い		45,200	"	1,591,620
	31	現金預入	103,980		"	1,695,600
順不問	"	未渡小切手	45,200		"	1,740,800
	"	現金預入誤記入 ●		32,620	"	1,708,180
	"	売掛金誤記入	9,000		"	1,717,180
	● "	次月繰越		1,717,180		
			● 4,567,890	4,567,890		
	6/1	前月繰越	1,717,180		借	1,717,180

このページの得点

第1問は ①, 第2問~第3問は ② に

参加番号 _____

令和3年度全国簿記競技大会

決算・得点計

予選問題 **決 算 解 答** 全3枚 ①

第1問 (28点)

●印@4点×7=28点
(単位：千円)

精 算 表

勘 定 科 目	本店残高試算表		支店残高試算表		修 正 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
小 口 現 金	250		100						350	
普 通 預 金	25,150		850						26,000	
外 貨 預 金	5,500					100			5,400	
売 掛 金	26,400		13,600						40,000	
貸 倒 引 当 金		200		100		500				800
商 品	21,700		14,500			400			● 35,800	
支 店	47,000					47,000				
仮 払 法 人 税 等	10,000					10,000				
仮 払 消 費 税	9,900		6,700			16,600				
建 物	60,000		40,000						100,000	
建物減価償却累計額		35,100		16,000		● 4,700				55,800
備 品	14,000		10,000						24,000	
備品減価償却累計額		7,000		2,500		3,000				12,500
土 地	128,000		20,000						148,000	
買 掛 金		26,400		600						27,000
仮 受 消 費 税		13,200		8,800	22,000					
借 入 金		20,000								20,000
本 店				47,000	47,000					
資 本 金		100,000								100,000
利 益 準 備 金		25,000								25,000
繰 越 利 益 剰 余 金		86,000								86,000
売 上		523,400		349,800				873,200		
受 取 利 息		300				50		350		
売 上 原 価	392,650		262,000		250		● 654,900			
給 料	59,450		38,650				98,100			
広 告 費	23,200		11,800				35,000			
旅 費 交 通 費	4,500		2,700				7,200			
水 道 光 熱 費	2,700		1,600				4,300			
租 税 公 課	2,600		900				3,500			
消 耗 品 費	1,800		1,000				2,800			
保 険 料	2,000		400			● 400	2,000			
支 払 利 息	350						350			
為 替 差 損 益		550			● 100			450		
	837,150	837,150	424,800	424,800						
棚 卸 減 耗 費					150		150			
商 品 評 価 損					250	250				
貸 倒 引 当 金 繰 入					500		500			
減 価 償 却 費					7,700		7,700			
(前 払) 保 険 料					400				400	
(未 収) 利 息					50				50	
(未 払) 消 費 税						5,400				5,400
● (未 払) 法 人 税 等						13,000				13,000
法 人 税 等					23,000		23,000			
当 期 純 (利 益)							34,500			34,500
					101,400	101,400	874,000	874,000	● 380,000	380,000

このページの得点

② ③ につづく

参加番号

全3枚 ②

第2問 (32点)

●印@4点×8=32点

精 算 表

(単位：円)

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	151,800		85,000	1,100			● 235,700	
当座預金	2,567,000		118,000	85,000			● 2,600,000	
売掛金	3,120,000						3,120,000	
貸倒引当金		6,800		40,000				46,800
売買目的有価証券	1,950,000			6,000			1,944,000	
商品	1,699,600			80,200			1,619,400	
仮払法人税等	377,000			377,000				
仮払消費税	1,359,000			1,359,000				
建物	17,158,000		522,000				● 17,680,000	
建物減価償却累計額		5,265,000		715,000				5,980,000
車両	1,960,000						1,960,000	
車両減価償却累計額		658,000		322,000				980,000
リース資産	648,000						648,000	
リース資産減価償却累計額		90,000		216,000				306,000
投資有価証券	3,624,000		8,000	15,000			● 3,617,000	
買掛金		3,264,000		118,000				3,382,000
前受金		70,000						70,000
リース債務		432,000						432,000
仮受消費税		1,798,000	1,798,000					
資本金		15,000,000						15,000,000
利益準備金		1,750,000						1,750,000
繰越利益剰余金		2,345,200						2,345,200
売上		35,963,000				35,963,000		
有価証券運用損益		234,100	6,000	8,000		237,000		
				900				
売上原価	26,949,200		50,800		● 27,000,000			
その他営業費	5,298,500				5,298,500			
支払利息	14,000		10,000		24,000			
	66,876,100	66,876,100						
雑(損)			1,100		1,100			
(資産除去債務)				522,000				522,000
(未払)消費税				439,000				439,000
貸倒引当金繰入			40,000		40,000			
● 其他有価証券評価差額金			● 15,000				15,000	
(未収)有価証券利息			900				900	
棚卸減耗費			29,400		29,400			
商品評価損			50,800	50,800				
減価償却費			● 1,253,000		1,253,000			
● (未払)利息				10,000				10,000
(未払)法人税等				400,000				400,000
法人税等			777,000		777,000			
● 当期純(利益)					1,777,000			1,777,000
			4,765,000	4,765,000	36,200,000	36,200,000	33,440,000	33,440,000

このページの得点

全3枚 ③

第3問 (40点)

●印@4点×10=40点

精 算 表

(単位：千円)

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	(2,337)		210				2,547	
当座預金	137,540		(310)	210			137,640	
電子記録債権	40,260						40,260	
電子記録債権貸倒引当金		(580)		620				1,200
売掛金	(82,500)			160			82,340	
売掛金貸倒引当金		600		(1,200)				1,800
売買目的有価証券	149,600		(4,500)	32,100			122,000	
繰越商品	●(123,900)		(132,800)	(123,900)			131,000	
				(1,800)				
仮払法人税等	22,600			(22,600)				
仮払消費税	14,520			(14,520)				
建物	150,000						150,000	
建物減価償却累計額		(60,750)		3,375				64,125
備品	59,560						59,560	
備品減価償却累計額		44,670		(7,445)				52,115
リース資産	67,200						67,200	
リース資産減価償却累計額		16,800		(13,440)				30,240
土地	234,560						234,560	
その他有価証券	98,400		(2,450)	(5,850)			95,000	
満期保有目的債券	(46,680)		480				47,160	
関連会社株式	●(50,000)			(25,000)			25,000	
電子記録債務		37,100						37,100
買掛金		82,450		150				(82,600)
仮受消費税		(19,360)	(19,360)					
リース債務		53,760						53,760
資本金		(500,000)						500,000
資本準備金		100,000						100,000
利益準備金		25,000						25,000
繰越利益剰余金		148,317						148,317
売上		●(2,323,000)				(2,323,000)		
受取配当金		11,920				11,920		
有価証券売却益		9,513				9,513		
有価証券利息		180		(1,020)		●(1,200)		
仕入	1,741,400		(123,900)	(132,800)	1,734,000			
			1,500					
給料・賞与	(265,000)				265,000			
その他営業費	147,803		45		(147,848)			
支払利息	140		(420)		560			
	3,434,000	3,434,000						
雑益				(45)		45		
未払消費税				(4,840)				●(4,840)
貸倒引当金繰入			(1,820)		(1,820)			
有価証券評価損			(27,600)		●(27,600)			
その他有価証券評価差額金			(5,850)	2,450			●(3,400)	
未収有価証券利息			(540)				540	
棚卸減耗費			(560)	260	300			
商品評価損			(1,240)	(1,240)				
減価償却費			(24,260)		●(24,260)			
未払利息				(420)				(420)
関連会社株式評価損			(25,000)		(25,000)			
未払法人税等			(49,600)	(27,000)	(49,600)			●(27,000)
法人税等					(69,690)			(69,690)
当期純利益							●(1,198,207)	(1,198,207)
			422,445	422,445	2,345,678	2,345,678		

このページの得点

第1問は ①, 第2問は ② に

参加番号

--